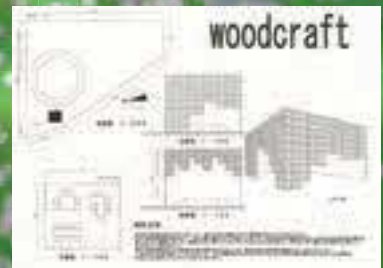


平成29年度

# 高校生建築デザイン コンクール

課題 / 「北海道子どもの国公園 水景(噴水)施設の利用者休憩所としての四阿」



# はじめに

公共建築物は、行政や教育・文化、医療・福祉、研究など、さまざまな分野で、地域の産業や人々の生活に密接な関わりを持ち、地域の活性化や道民生活の向上、気候風土等と調和した魅力あるまちづくりを推進する上で重要な役割を果たしています。

道では、道内の建築を志す高校生の勉学の励みとし、将来の建築技術者となる若年層の育成を図るとともに、道民に愛され親しまれる施設整備を進めるため、道内の建築系学科に在籍する高校生を対象に、夢のあるユニークなデザインを募集する「高校生建築デザインコンクール」を平成8年度から実施しています。

平成12年度からは、公益社団法人日本建築家協会北海道支部、一般社団法人北海道建築士事務所協会、一般社団法人北海道建築士会との共催事業となり、今回で22回目の開催となります。

今年度は、砂川市の北海道こどもの国の水景施設整備に伴い、新たに利用者のための休憩所として整備を予定している「四阿(あずまや)」を設計課題として募集したところ、7校152人から108作品の応募がありました。

休憩施設は24名程度が休憩することを想定し、ベンチやテーブルを配置し、車いすでも使用できるよう、また水景施設で遊ぶ子どもを保護者が見守れるよう配慮することなどを求めたところ、高校生らしい創造性にあふれた作品が多く寄せられました。

応募された皆様には、心からお礼申し上げます。

厳正な審査を経て、最優秀作品賞1作品、優秀作品賞3作品、佳作4作品、特別賞2作品が選定されました。受賞者の皆様、誠におめでとうございます。このコンクールに参加した皆様が公共建築物について考え、そして学んだ経験は、今後建築技術者として第一線で活躍される上で貴重な財産になるものと期待しています。

終わりに、高校生建築デザインコンクールの実施にあたり、各高等学校でご指導いただきました先生方をはじめ、関係機関の皆様には多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、ご応募いただいた高校生の皆様には、今後も専門の勉強に励まれ、将来社会でご活躍されることを心からお祈り申し上げます。

平成29年12月

北海道建設部建築企画監 **須田 敏則**

## 平成29年度 高校生建築デザインコンクールの実施概要

道内の建築を志す高校生の勉強の励みとし、将来の建築技術者となる若年層の育成と技術向上に寄与することを目的として、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

道内の高等学校（建築系学科）に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

最優秀作品に選ばれた作品の提案主旨は、道において、設計に取り入れ道民に親しまれる施設となるよう建設を進めていきます。

- 課 題** 「北海道子どもの国公園 水景(噴水)施設の利用者休憩所としての四阿」  
車いすの方が利用でき、水景(噴水)施設で遊ぶ子供を保護者の方が見守れるよう設計してください。
- 応募資格** 道内高等学校（建築系学科）に在籍する個人又は3名以下のグループ
- 提出図面** JIS規格A2判(420mm×594mm)横置き1枚片面に下記の全ての図面を描く
  - ① 作品タイトル
  - ② 設計主旨
  - ③ 配置図・平面図 1/300・1/50
  - ④ 断面図 1/50
  - ⑤ 立面図 1/50
  - ⑥ スケッチ
  - ⑦ 面積表
- 応募作品** 152名から108作品の応募
- 入選作品** 最優秀作品1作品 ・ 優秀作品3作品 ・ 佳作4作品 ・ 特別賞2作品
- 経 過**

募集要項配付	平成29年5月26日
作品受付	平成29年8月21日から平成29年8月31日まで
選定委員会	平成29年9月7日
作品展(予定)	平成30年1月11日から平成30年1月12日まで
- 選定委員**

十河昌司	(公益社団法人日本建築家協会北海道支部 教育委員会教育委員長)
重網博美	(一般社団法人北海道建築士事務所協会 業務・技術委員会担当副会長)
針ヶ谷拓己	(一般社団法人北海道建築士会 常務理事・まちづくり委員長)
山本明敏	(北海道教育庁学校教育局高校教育課長)
服部勝雄	(北海道建設部建築局建築整備課長)



## 審査総評

「高校生建築デザインコンクール」は、道内の建築系学科の高等学校に在籍する生徒の皆様から、道が整備する公共建築物のデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークなアイデアを広く募集するとともに優れた作品を表彰しているものです。

今年度は、砂川市の北海道子どもの国に利用者のための休憩施設として整備を予定している「四阿」を設計課題としたところ、108作品という例年より多い作品の応募がありました。今年度も多くの関係者のご協力により、高校生建築デザインコンクールを盛会に進めることができました。

選定委員を代表して、関係者の皆様にお礼を申し上げます。

応募作品は、水景施設と連携したデザインで四阿を利用する子ども達の遊び心をくすぐりそうな魅力ある作品や高校生らしい若々しい発想による外観のデザイン、構造など工夫された設計の提案が数多く見られました。何より、多くの作品から子どもの国で遊ぶ親子連れが四阿でくつろいでほしいという思いが伝わってきました。

応募のあった作品については、「高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか」「設計のコンセプトやデザインに魅力があるか」「立地条件を活かしているか」「実施設計に反映させ得るデザインであるか」といった観点から厳正に審査を行い、最優秀作品1作品、優秀作品3作品、佳作4作品、特別賞2作品を選定いたしました。

このほか、惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい創造性にあふれたデザイン提案が数多くありました。

このコンクールへ参加したことにより、さらに建築に対する関心を高め、建築技術を学ぶ皆様の学習意欲の高揚や将来の建築関連分野への進路選択にもつながることを期待しております。

今回、ご応募いただきました皆様のこれからのご活躍をお祈りし、審査総評とさせていただきます。

平成29年度高校生建築デザインコンクール選定委員会  
委員長 北海道建設部建築局建築整備課長 服部 勝雄

## 平成29年度 高校生建築デザインコンクール入賞者一覧

### 最優秀作品賞（1作品）

田村 祐太（北海道苫小牧工業高等学校 3年）  
菅原 拓（北海道苫小牧工業高等学校 3年）  
澤田 元輝（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

### 優秀作品賞（3作品）

高杉 后（北海道苫小牧工業高等学校 定時制 2年）  
津田 美沙（北海道苫小牧工業高等学校 定時制 2年）

武藤 烈紀（北海道苫小牧工業高等学校 3年）  
佐藤 柊太（北海道苫小牧工業高等学校 3年）  
千葉 天音（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

横内 美紀（北海道函館工業高等学校 3年）

### 佳作（4作品）

工藤 葵（北海道苫小牧工業高等学校 3年）  
袖山 龍（北海道苫小牧工業高等学校 3年）  
枝松 大夢（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

江良 友希（北海道函館工業高等学校 3年）  
阿部 祐也（北海道留萌千望高等学校 3年）

### 特別賞（2作品）

後藤 克之（北海道苫小牧工業高等学校 3年）  
高田 祐希（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

▶ 入賞作品 ▶

北海道苫小牧工業高等学校

田村 祐太 (3年)

菅原 拓 (3年)

澤田 元輝 (3年)



最優秀作品賞



作品名 「Wood Arch」

設計趣旨

今回のテーマは公園の四阿なので、子供が遊べるような四阿を目指しました。  
この四阿は遊具になるような四阿になるように作ったので、子供が屋根に登って遊べる環境をイメージしました。一般的に柱と屋根だけの簡素な造りの多い四阿ですが、遊具と融合させることで小さな子供でも四阿を大いに楽しむことができます。  
曲線で構成されているので軽やかでありながらも静かにたたずむため、オブジェのような存在感を生み出しています。  
また、敷地に水場や芝生、木をランダムに配置することで、色々な場を生み出し公園全体に遊ぶ場や休憩の場を多数計画しました。  
これらの計画により、様々な家族が思い思いの場所で楽しむことができる公園にしました。

審査講評

水景施設と公園利用の条件をよく理解し、ユニバーサルデザインにも配慮された魅力ある提案である。  
池を囲むように地面から立ち上がる屋根がアーチを描いて噴水や周囲との一体感があり、オブジェとしての外観やエリア全体の構成が高く評価された。



優秀作品賞

北海道苫小牧工業高等学校定時制

高杉 后 (2年)  
津田 美沙 (2年)



作品名 「 Lotus of Pavilion 」



設計趣旨

今回、休憩所としての四阿を設計するにあたって私たちが最初に考えた事は、子供の国公園内に建つということと、噴水の近くにあるので、水辺に関係したものをモチーフにみんなの印象に残るような仕掛けを取り入れた建物を考えようと思いました。

そこで、鑑賞池に浮かぶ蓮を噴水に浮かんでいるような建物がいいのではないかと考えました。そして、それは緩やかに高さのある鑑賞池から眺めるとその光景が見ることが出来、実際の鑑賞池の蓮に溶け込んだ風景となるのではないかと考えました。

そして、この四阿は構造体自体がベンチとなっています。また、3つのテーブルは各々高低差をつける事で四阿での面白さも設計してみました。



審査講評

噴水との関連付けが美しく、屋根の形状やベンチに変化があり、斬新なデザインが評価された。



優秀作品賞

北海道函館工業高等学校

横内 美紀 (3年)



作品名 「蓮の四阿」



設計趣旨

水に浮かぶ蓮をテーマに設計しました。蓮の葉の形をイメージした建物を4つつなげて、一つの四阿にしました。屋根や家具なども蓮をイメージしてデザインしました。

屋根を斜めにして、さらに、南側にすだれを設けることで、日影をなるべく多く確保できるようにしました。夏の暑い日でも涼しく快適に過ごせると思います。

北側には、柵などの視界を遮るものをなるべく置かないようにしました。噴水の様子をよく見ることができると思います。暑い日でも、噴水と共にこの四阿を利用して快適に楽しく過ごしてほしいです。



審査講評

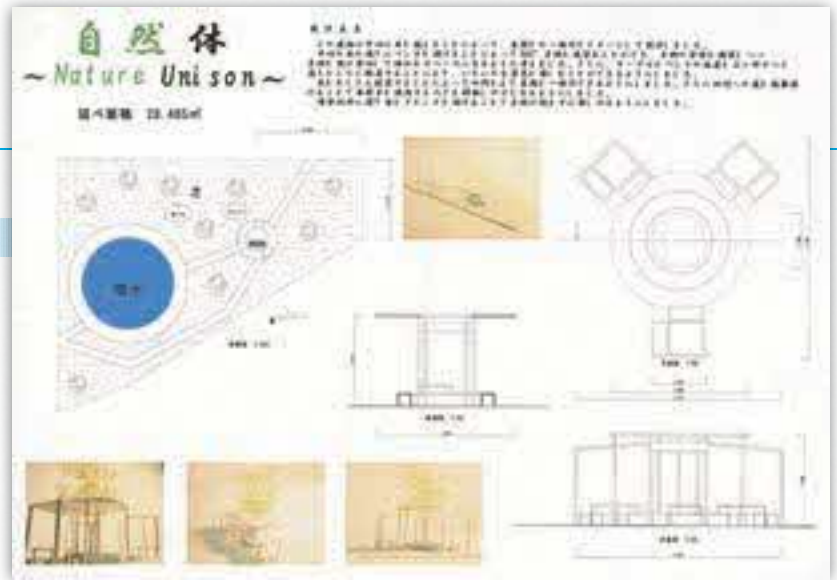
蓮の葉の屋根の高さを変えて四阿を独立させ、アクセントを持たせた質の高いデザインが評価された。



優秀作品賞

北海道苫小牧工業高等学校

武藤 烈紀 (3年)  
佐藤 柊太 (3年)  
千葉 天音 (3年)



作品名 「自然体 ~Nature Unison~」

設計趣旨

この建物は中心に木を植えることによって、自然との一体化をイメージして設計しました。中心の木の周りにベンチを設けることによって360°子供を見守ることができ、子供の安全を確保しつつ子供と親が安心して休めるスペースになるように考えました。さらにテーブルとベンチの位置を三ヶ所すべて違うところに配置することにより、いろいろな景色を楽しむことができるようにしました。木をたくさん配置することによって四阿をより自然と一体化できるようにしました。さらに四阿への道を複数設けることで車椅子を使用する人でも移動しやすくなるようにしました。噴水以外に滑り台とブランコを設けることで子供が飽きずに楽しめるようにしました。

審査講評

四阿の中に木を植えるというアイデアや中央の屋根をくり抜いた樹木を中心にやや低い屋根の四阿がかるやかで美しいデザインが評価された。



佳作

北海道函館工業高等学校

江良 友希 (3年)



作品名 「四葉 ~四つの憩いの葉~」

設計趣旨

この「四葉」は家族や友人などが楽しく過ごすことのできる四阿です。四つの葉をイメージしたこの建物は、家族の落ち着いたプライベートな時間を確保するために、各棟の高さを少しずつ変えました。また、高さを変えたことで噴水で遊ぶ子ども達を見守りやすくなっています。足の不自由な人や高齢者の方々のためにスロープを設け、様々な人が利用できるようにしました。柱などの木材は明るい色を取り入れ、建物全体を明るい雰囲気になりました。四つの葉はそれぞれで見える景色が違うので色々な景色が楽しめます。家族や友人が寄り添うことのできる憩いの場を目指しました。

審査講評

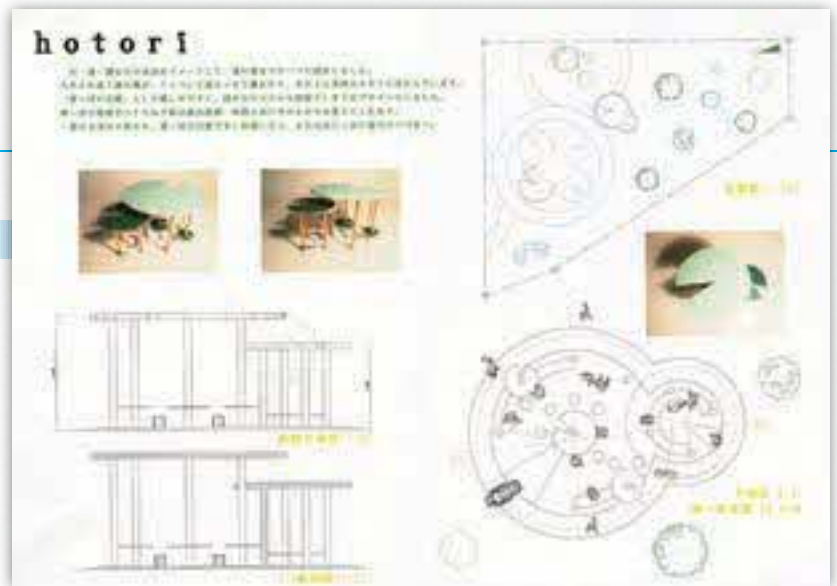
4つの独立した四阿と円路の組み合わせは建物に広がりを与え、また四葉に高低差をつけ、その外周にスロープをまわすという工夫が評価された。



佳 作

北海道苫小牧工業高等学校

工藤 葵 (3年)



作品名 「hotori」



設計趣旨

川・池・湖などの水辺をイメージして、蓮の葉をモチーフに設計しました。大きさを違う蓮の葉が、くっついて重なったり離れたり、水の上に気持ちよさそうに浮かんでいます。「葉っぱの公園」として親しみやすく、雨の日にカエルも雨宿りしそうなデザインにしました。葉っぱの屋根がつくり出す影は演出装置、時間と共にそのかたちを変えてくれます。一番の主役は子どもたち。葉っぱの日陰で少し休憩したら、また元気いっぱい遊びのつづきへ。



審査講評

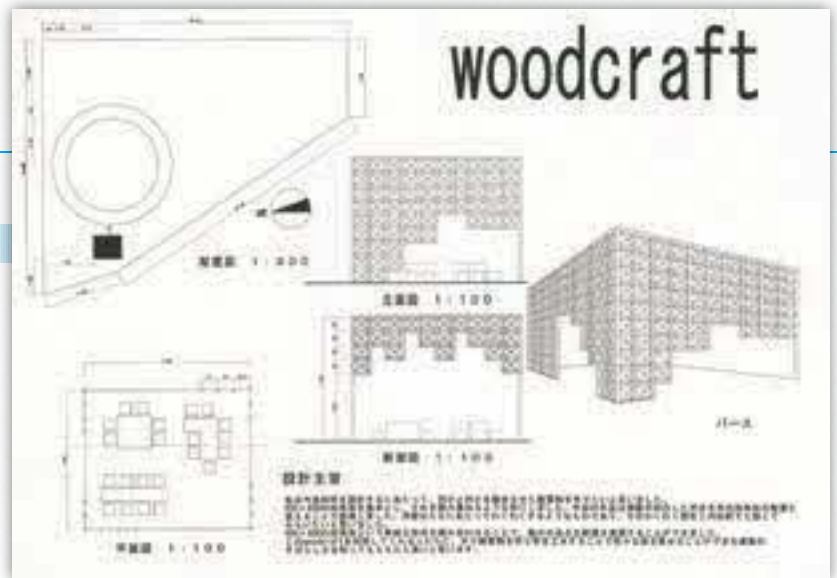
蓮の葉の形状を上手に使ったデザインで、若々しさを感じられることが評価された。



佳 作

北海道留萌千望高等学校

阿部 祐也 (3年)



作品名 「woodcraft」



設計趣旨

私は今回四阿を設計するにあたって、何かと何かを融合させた建築物を作りたいと思いました。500×600の四角形を基本とし、それを積み重ねるような形にしました。今回の作品は洞窟の凹凸した天井を木の四角形の配置を変えることで表現しました。洞窟は入るにあたってわくわくするようなものであり、そのわくわく感をこの四阿でも感じてもらいたかったです。500×600の四角形という単純な形状を組み合わせることで、動きのある立断面を表現することができました。このwoodcraftを利用してくれる人たちに、木で建築物を作り形を工夫することで色々な姿を見せることができる建築のすばらしさを知ってもらえたら良いと思います。



審査講評

四角形のグリッドを立体的に組み合わせ、様々なリズムを生み出している独創的なデザインが評価された。

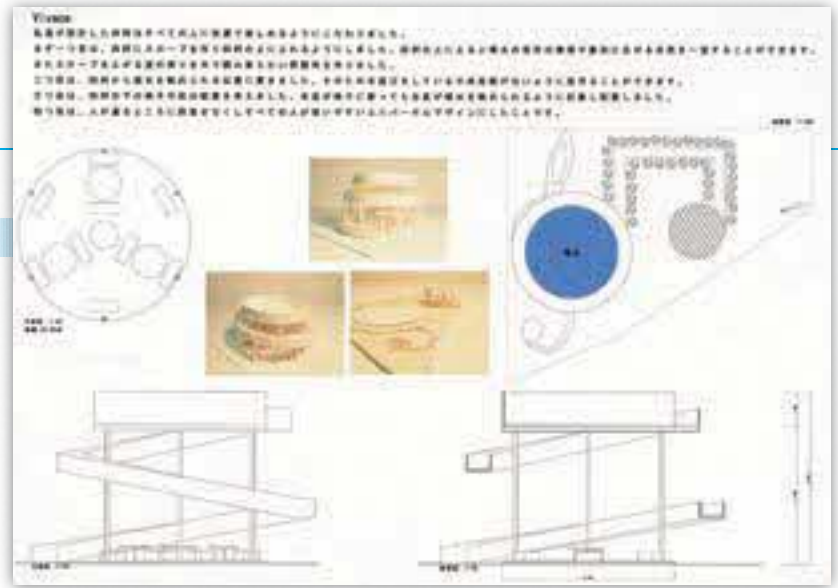




佳作

北海道苫小牧工業高等学校

袖山 龍 (3年)  
枝松 大夢 (3年)



作品名 「Vivace」



設計趣旨

私たちが設計した四阿はすべての人に快適で楽しめるようにこだわりました。  
まず、一つ目は、四阿にスロープを作り四阿の上へ上がれるようにしました。四阿の上へ上がると噴水の音符の模様や敷地に広がる自然を一望することができます。また、スロープを上がる道の周りを木で囲み柔らかな雰囲気を作りました。  
二つ目は、四阿から噴水を眺められる位置に置きました。そのため水遊びをしている子どもに危険がないように見守ることができます。  
三つ目は、四阿の下の椅子や机の配置を考えました。全員が椅子に座っても全員が噴水を眺められるように計算し配置しました。  
四つ目は、人が通るところに段差をなくし、すべての人が使いやすいユニバーサルデザインにしたことです。



審査講評

円形平面の中心部レイアウトがきれいにまとまっている。外周のスロープの発想が評価された。



特別賞

北海道苫小牧工業高等学校

後藤 克之 (3年)



作品名 「噴水の四阿」



設計趣旨

この建物は、保護者が水で遊ぶ子どもたちを見守りやすいように噴水の真ん中にもってきました。  
噴水の水を汲み上げて、真ん中にあるガラスの筒を通り屋根の上にもっていき、その水を7方向に流れ落ちるようにしました。水が角から落ちるようにしたので子どもたちが遊べるようになっています。  
また、屋根の一部をガラス張りにすることで光が水を透過して入ってくるので光が柔らかくなり、入ってきた光が床に水の影を写して視覚的に涼しさを感じます。  
水を屋根に流しているため熱が下がって涼しく過ごしやすいです。屋根から落ちる水を限定しているため、水を通して見たり何もないところから見たりできます。



審査講評

中心がガラスになっていることで、夏は冷却効果が期待できる。涼を感じる作品であり、四阿を噴水に置くという発想が評価された。



特別賞

北海道苫小牧工業高等学校

高田 祐希 (3年)



作品名 「ripple」

設計趣旨

水の波紋や雫をイメージして曲線を用いた建築としました。大きなオーバルの屋根の下に波紋と波紋がぶつかり重なり合うようなベンチをつくり、ベンチの曲線に合わせて設置した木のルーバーは、差し込む光を和らげると共に、格子状の影をつくり出します。また、柱と一体化したテーブルは、水に浮かぶ蓮の葉、子供たちが親しみを帯びるデザインとしました。屋根から飛び出した2つの突起は、風を呼び込む装置として涼しさを届けてくれます。水辺で遊ぶ子供たち、原っぱで元気に走る子供たちを優しく見守ることのできる、たまりの空間になって欲しいと思います。

審査講評

円筒が風を呼び込み、環境に配慮している。円形をうまく使ったユニークなデザインが評価された。

平成29年度高校生建築デザインコンクール応募者名簿

北海道札幌工業高等学校

- 川端 賢人 [3年]

北海道小樽工業高等学校

- 明石 涼馬 [3年]
- 大高 隼人 [3年]
- 小熊 健太 [3年]
- 小原ほのか [3年]
- 金田 優花 [3年]
- 木村 凜 [3年]
- 木元 宥輝 [3年]
- 小林 亮太 [3年]
- 櫻井 楓 [3年]
- 佐々木要人 [3年]
- 佐藤 翔太 [3年]
- 佐藤 晴海 [3年]
- 嶋田 優希 [3年]
- 白岩 孝汰 [3年]
- 須貝 龍哉 [3年]
- 鈴木 優斗 [3年]
- 田中 浩堅 [3年]
- 中村 美慧 [3年]
- 中谷 唯人 [3年]
- 本間 士温 [3年]
- 山口 拓人 [3年]
- 山田 龍二 [3年]
- 小間 拓海 [3年]
- 田中 蒼 [3年]
- 本間 浩暉 [3年]
- 寺戸 友唯 [3年]
- 野呂 みう [2年]
- 滝澤実由希 [2年]
- 三上 晏弘 [2年]
- 葦澤 一弥 [2年]
- 2名グループ
- 竹田 一輝 [2年]
- 平野 温人 [2年]
- 2名グループ
- 市川 青空 [2年]
- 石黒 竜也 [2年]
- 2名グループ
- 喜多 策也 [2年]
- 小野 龍介 [2年]
- 2名グループ
- 本間 未悠 [2年]
- 佐藤 亜紗 [2年]
- 2名グループ
- 爰地 芽依 [2年]
- 坂本奈々美 [2年]
- 齊 麗奈 [2年]
- 3名グループ
- 徳保 光 [2年]
- 熊川蒼一朗 [2年]
- 嶋津 綾 [2年]
- 3名グループ
- 中川 涼音 [2年]
- 芳賀友里亜 [2年]
- 松原小都里 [2年]
- 3名グループ
- 大隅冨太郎 [2年]
- 相原 悠希 [2年]
- 佐藤 友哉 [2年]
- 3名グループ

北海道苫小牧工業高等学校

- 袖山 龍 [3年]
- 枝松 大夢 [3年]
- 2名グループ
- 田村 祐太 [3年]
- 菅原 拓 [3年]
- 澤田 元輝 [3年]
- 3名グループ

- 永井 拓武 [3年]
- 田中 諒 [3年]
- 丸山 龍一 [3年]
- 3名グループ
- 福田 晋作 [3年]
- 吉田 海流 [3年]
- 吉村 玲 [3年]
- 3名グループ
- 武藤 烈紀 [3年]
- 佐藤 柊太 [3年]
- 千葉 天音 [3年]
- 3名グループ
- 小山 祐介 [3年]
- 青木 大心 [3年]
- 相澤 一寿 [3年]
- 3名グループ
- 和田 亮治 [3年]
- 太田 隼輔 [3年]
- 須藤 百萌 [3年]
- 3名グループ
- 佐々木辰也 [3年]
- 佐藤 慧伍 [3年]
- 菅原 光夢 [3年]
- 3名グループ
- 舟山 彩音 [3年]
- 湯沢 空也 [3年]
- 渡邊 崇仁 [3年]
- 3名グループ
- 高橋 祐太 [3年]
- 千葉 士吹 [3年]
- 引田 智也 [3年]
- 3名グループ
- 山下 耀 [3年]
- 野沢 龍臣 [3年]
- 2名グループ
- 野田 海力 [3年]
- 盤木 茜里 [3年]
- 2名グループ
- 工藤 葵 [3年]
- 板垣 政則 [3年]
- 高橋 和真 [3年]
- 庄野 純輝 [3年]
- 3名グループ
- 後藤 克之 [3年]
- 高田 祐希 [3年]

- 菊池 奨真 [2年]
- 紺谷 匡乃 [2年]
- 佐々木愛可 [2年]
- 佐々木塔子 [2年]
- 佐々木楓華 [2年]
- 佐藤万菜保 [2年]
- 谷藤 らな [2年]
- 千葉奈々子 [2年]
- 中川詩生里 [2年]
- 中元 萌衣 [2年]
- 野村 多究 [2年]
- 藤広 瀬奈 [2年]
- 三浦菜奈果 [2年]
- 三浦未智花 [2年]
- 山本絵里佳 [2年]

北海道旭川工業高等学校

- 高松 奈菜 [3年]
- 板垣 利来 [3年]

北海道留萌千望高等学校

- 青山 直生 [3年]
- 阿部 祐也 [3年]
- 伊藤 竜生 [3年]
- 宇治創一朗 [3年]
- 尾泉 雅也 [3年]
- 神部 祐嗣 [3年]
- 清島垂斗武 [3年]
- 工藤翔太郎 [3年]
- 里深 慶也 [3年]
- 丹野 拓弥 [3年]
- 坪田 悠輔 [3年]
- 飛島 颯斗 [3年]
- 本間 楓 [3年]
- 毛内 輝 [3年]
- 横内 大輝 [3年]

北海道帯広工業高等学校

- 小坂 友星 [3年]
- 松橋 冴英 [3年]
- 諏訪 光平 [3年]
- 3名グループ
- 安部 凌 [3年]
- 浅野 太豪 [3年]
- 2名グループ

北海道苫小牧工業高等学校定時制

- 及川このみ [4年]
- 高杉 后 [2年]
- 津田 美沙 [2年]
- 2名グループ
- 佐藤 隼人 [2年]
- 清水 広行 [2年]
- 2名グループ

北海道函館工業高等学校

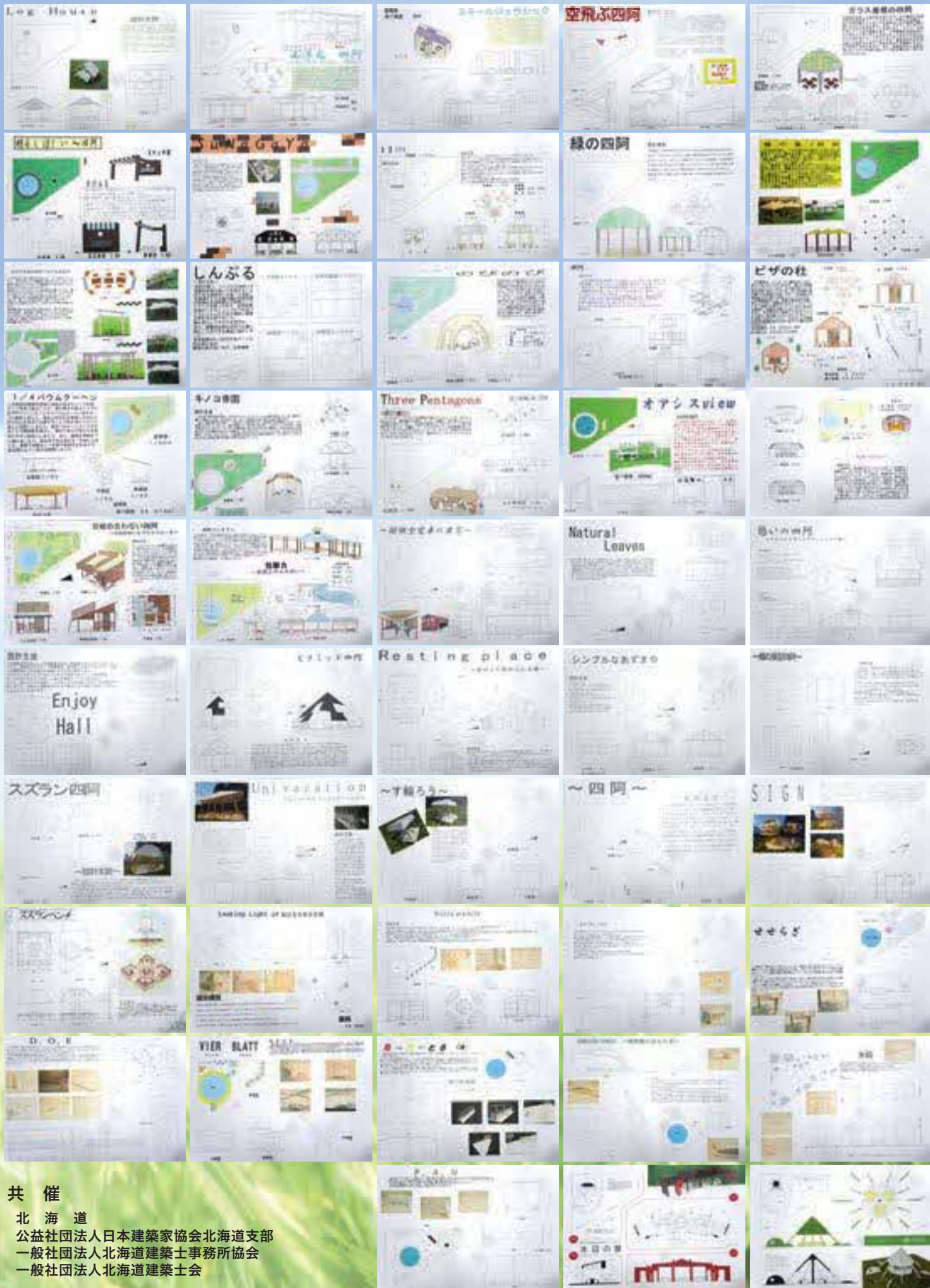
- 穴田 香帆 [3年]
- 泉 陽子 [3年]
- 江良 友希 [3年]
- 川崎 月 [3年]
- 工藤 由貴 [3年]
- 小林 未空 [3年]
- 佐々木怜奈 [3年]
- 佐藤 文香 [3年]
- 菅原 安佑 [3年]
- 高橋 彩友 [3年]
- 花坂 亮太 [3年]
- 本間 悠矢 [3年]
- 松倉 綾人 [3年]
- 山田 琢流 [3年]
- 横内 美紀 [3年]
- 横内 里帆 [3年]
- 吉田 琳音 [3年]
- 米田 圭杜 [3年]
- 東 若菜 [2年]
- 伊山月秋乃 [2年]

高校別応募作品数一覧

学校名	応募作品数	参加人数
北海道札幌工業高等学校	1	1
北海道小樽工業高等学校	34	50
北海道苫小牧工業高等学校 (全日制・定時制)	19	44
北海道函館工業高等学校	35	35
北海道旭川工業高等学校	2	2
北海道留萌千望高等学校	15	15
北海道帯広工業高等学校	2	5
計	108	152



# ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2017



共 催

- 北 海 道
- 公益社団法人日本建築家協会北海道支部
- 一般社団法人北海道建築士事務所協会
- 一般社団法人北海道建築士会

北海道建設部建築局ホームページ  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kkr/>

平成29年12月